

Isehara Rotary Club

International Rotary Distict 2780th/Group#7

2018-2019 年度 第 2562 回例会
平成 30 年 9 月 12 日 (水) 晴れ

RI 会長/バリー・ラシン

地区ガバナー/脇 洋一郎 (茅ヶ崎湘南 RC)

会長/堂前 慶之

幹事/外谷 正人

会報委員長/大澤 守門

会長あいさつ



2018-2019 年度/堂前 慶之会長

漸く心地よい秋風が吹くようになりました。暑さが終わるかと思うとホッとします。今日は外谷幹事が中国に出張のため、土屋副幹事に代役を務めていただきます。よろしくお願いいたします。さて、本日は最近気になった話題を取り上げたいと思います。8/30、31 に公聴会が開かれた福島第一原発に溜まり続けるトリチウム汚染水の問題です。ニュースで久しぶりに見た原発周辺にはおびただしい数のタンク (約 700 基!) が並び異様な光景でした。福島第一原発では、地下水が流入する建屋地下から現在も 1 日当たり 100 t を超える汚染水が発生しています。様々な放射性物質を含む汚染水は ALPS (放射性物質を取り除く装置) により処理されますが、トリチウムは水素の同位体で水と分離できずトリチウム汚染水はとりあえずタンクに保管されます。現在の技術とコストを考えると、最終的には水蒸気として大気に放出するか、希釈して海に流すしか方法がないそうです。政府が選択したのは海洋放出で、学者はトリチウムは十分希釈すれば健康に影響はないといいます。また、現実的には原発が稼働していればトリチウムは常時放出されているそうです。しかし、福島の漁協に携わる方々にとってはまた風評被害を呼ぶことになり、簡単に海洋放出を進めることができません。海洋放出が正しいのかどうかはわかりませんが、増え続けるタンクにも限界があることはとくにわかっていた筈です。国も東京電力もマスコミも直面する問題に対する議論と理解を深める努力を怠ってきたのではないのでしょうか。問題を先送りにしてもいずれは直面して大問題になります。原発が再稼働を始めていますが、核燃料サイクルが破たんした現在、「トイレのないマンション」状態で使用済み核燃料はたまり続けます。この問題もいずれ我々の子や孫の世代にとつともなく大きな負債として押し掛かっていくのです。我々は責任世代として無関心であってはならないと思います。

点鐘

堂前 慶之会長

ロータリーソング

それでこそロータリー
四つのテスト (大谷 聡会員)

司会進行

東井 重和会長エレクト

お客様

なし

今後の予定

- ・ 9/19 [第 2563 回]卓話
- ・ 9/26 [第 2564 回]卓話
- ・ 10/3 [第 2565 回]卓話 (米山奨学生)
- ・ 10/10 [第 2566 回]卓話
- ・ 10/14 地区大会/道灌まつり

幹事報告

★例会変更のお知らせ

秦野中 RC

10 月 12 日 (金) → 10 月 14 日 (日) 地区大会に振替

10 月 26 日 (金) 移動例会 (さつまいも堀り)

→ 例会前に行きます

例会: 12 時 30 分点鐘

於: 秦野商工会議所 4 階

★伊勢原観光道灌まつり実行委員会より

第 51 回伊勢原観光道灌まつり第 2 回実行委員会資料が届いております。



スマイル報告

田村 貴寿/スマイル委員会委員長

[入会祝い]



加藤 桂君

入会記念を祝って頂き、ありがとうございます。入会して丸2年経ちました。最近何かと忙しく例会出席がままならずです。ですが、それには意味があると思い、全力で頑張っています。出来るならば、こんな顔ですが忘れずにいてください。

堂前慶之君/外谷正人君/東井重和君
築城忠生君/土屋 修君/松下 孝君
飯田隆三君/井戸川秀治君/内田智久君
田中 徹君/鈴木康弘君/天野耕一郎君
堀口雅巳君/田村貴寿君

出席報告

大澤 守門/出席・プログラム委員会委員

会員数	出席計算に用いた数	出席者数	出席率 (%)	前々回修正出席率 (%)	MAKE UP
61	60	36	60	なし	事前 萩原庸嘉君→米山・学友・資金推進委員会 東 学君→クラブ管理運営委員会 小山博正君→クラブ管理運営委員会 濱尾ゆかり君→平塚南 RC

委員会報告

I・M 実行委員会/田村 貴寿研修副委員長

●IMの席順を決めるためのアンケートご記入ください。

社会奉仕委員会/戸田 裕士委員長

●奉仕プロジェクト委員会開催のお知らせ

9月19日(水) 18:00～ 月あかり

主な内容：11/16の伊勢原小学校でのふれあい事業の打合せ

担当の奉仕の方の選定等



I・M 実行委員会/萩原 庸嘉委員長

都市連合会(略称I・M[アイ・エム])とは？ 目的と歴史と今

目的は簡単に言いますと第7グループの全体会合です。そこで勉強会を開き、懇親会を催すのが恒例です。今年度は、本来の開催目的である会員相互の親睦と知識を広め、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強する事を念頭に、王道に沿って開催されます。

歴史 I Mの前身はI G F (Intercity General Forum)都市連合一般討論会でした。I Mと少し違うところは、ガバナーから任命されたリーダーが司会をし、討論をし、経験豊かなロータリアンのカウンセラーが助言をし、最後の全体討論では、ガバナーから選ばれた元R I 役員のゼネラル・リーダーが概評をする。地区ガバナーの意向での開催でした。しかしI Mはガバナー補佐の主導のもとでの開催です。これは分区代理からガバナー補佐への移行に伴う組織改革の一端と言われていますが、実際はロータリーの組織拡大に伴い、ガバナーの職責が増大し隅々まで目が行き届かなくなったとも言われています。もちろんゼネラル・リーダーに指名された元R I 役員はそれほど多くいらっしゃいませんし、お願いするにも大変です。第259地区が横浜・川崎とそれ以外に分割されたとき伊勢原クラブ20周年、濱田P Gが第2780地区ガバナーに就任された年度よりI Mに移行し2002年より分区代理が廃止され、ガバナー補佐が任命されました。13年間は分区代理方式であった為、非常に分区の力は強く、地区の意向に沿わないことも多々あったようです。そして今I Mでも必ずI Mリーダーを立て地区とのすり合わせをしていましたが、ガバナー補佐が任命されると、当地区では初代ガバナー補佐の時I Mは開催されませんでした。その後も慣例を壊すように、当該ガバナー補佐指導のもと、形骸化されたI Mは、参加するのはせいぜい140名位だから寂しいので興味深い又は面白い講師を呼んで、一般公開にして参加者を集えればより大きな事業になりロータリーをP Rするには最適、そこで市や慈善団体に寄附行為を行い面目を保つ、面白くない形ばかりのI Mが主流になりつつあります。そこで思います、地区大会ではないので第7グループ参加人数140人なら十分だと思います。寄附行為したければ自分のクラブ資金で各周年行事等の時やって下さいと考えます。伊勢原クラブがホストを引き受けたときは勉強と親睦をいつも前面に出しています。今年度松下ガバナー補佐も伊勢原DNAを引き継ぎ、第7グループの『ロータリアンネットワークの構築の一助を担う』その為の役立つ年度にしたいと趣意書でも述べています。現在伊勢原クラブは第7グループで一番の会員数を誇っています。今期I Mの機会にクラブ一丸となり、伊勢原クラブの学んできたI Mの王道をアピールしていきたいと思います。

私見が多々入りましたが今年度I M 宜しくお願いします。

広報・雑誌委員会／貝原 剛規委員長

まず、自己紹介をさせていただきます。私は、大学卒業後東京の製薬会社に就職しまして、大学のサークルの後輩と付き合い合っていてそのまま結婚しました。友達は、その頃からの付き合いの人、大学のサークル、会社の同僚等と付き合い合っています。が、3年で離婚して、会社も5年で退職し帰省しまして、研修医をやって今開業したという流れです。その間10年間はゴルフもやらずに子育てと仕事一筋で頑張ってきました。開業当初は病院も暇で、スイミングインストラクターのアルバイトをしてました。その時同じスイミングスクールで見つけた人と結婚しました。離婚して脱サラして帰省してきましたので、なかなか心を許せる友達がいませんでした。たまたま幼馴染の添田君がロータリーに誘ってくれて今に至ります。当時、私の父がライオンズクラブの上がりでした。父からは、仕事が忙しくて参加する暇がないからロータリーなんかやめろと言われましたし、妻からも会費がかかるならそれを家計費に回せと言われ反対される中、井戸川さんが、お前友達いないだろ？と痛烈に私の核心をつく言葉で熱心に誘って下さいまして、とにかく5年やってみろということで入会しました。私の入会の最大の目的は友達を作ることです。今、私はちょうど入会5年目、50歳になりました。クラブの方も50周年という事で、トリプル5で節目の年です。直近の3年間は職業奉仕委員長、出席プログラム委員長、今年は広報委員長として普段仕事ではできないような活動をさせて頂いている中で、疑問・違和感・悩みなどが出てきました。あくまでも個人的なものです。お酒が飲めないのになかなか宴席が苦手だったり、仕事の都合で集まりに最初から参加できなかったり、5年経っても当初の目標が達成できてなくて、本当に心を許せる友達ができません。会費だけ払って行ける時だけ参加すればいいとは思えなくて、せっかくやるならどつぱりとやりたいという思いがあります。私にとってロータリーは何なんだろう？という思いがありまして、今日は出席者数が少ないですが、そんな悩める私のためだけにロータリーを知り尽くした歴代会長の方々にロータリーへの思いを何うという企画を作りまして、それをミニ卓話とさせて頂いて、その卓話が「一つ、真実を語り、二つ、みんなに公平に、三つ、好意と友情を深め、四つ、みんなのためになる」様な時間を作ることを期待しております。



2017-18 年度会長/井戸川 秀治君

こんにちは。私にとってロータリーとは何か？伊勢原ロータリークラブに入りまして、色々な職業の方とお話ししたり、出会いがありました。昨年度は会長をやらせて頂きまして、様々な事業がございます。その中で色々皆さんと携わってお話をしたり、行動を見たり、また仕事に対する熱意などをすごく感じ取って、この人達と付き合い合えば私も幸せになれるのかな、少しバージョンアップ出来るのかなという思いがありました。なんて素晴らしい人たちの集まりなんだろうとお世辞抜きで思いました。会長をやったのは、皆さん同じ会員で同じ会費を払っていて、この伊勢原ロータリークラブの会長を経験しないというのは非常に勿体無い事じゃないのかなと思う事です。皆さんの各会社に社員は大勢いると思います。伊勢原ロータリークラブには60名の会員がいます。その中で1年間会長幹事をやると言うことは、すごく勉強になるんじゃないかと思ひます。皆さん、会長幹事のお声がかかりましたら、ぜひ素直にイエスと言う返事をして下さい。最後に私にとってロータリーとは何かと言うと、生涯の友を探す事と、自分自身のスキルアップです。



2016-17 年度会長/村上 一秋君

私にとってロータリーとは、一言で言いますと「生涯学習の場」です。人生には3、4回の学習の期間があります。最初は10代後半くらいから受験や将来のための学校を選ぶと言うときが第1段階で、第2段階は、大学ないし専門学校を出て職業選択をした上で、スキルアップをする時期です。私の場合は、英語、コンピューター、会計等を自分の武器にしようと思って頑張った時期です。第3段階は人と人とのつながりの勉強です。RCは、そういった場所を提供してくれる場なので、8年前に入会しました。年齢や経験が違う多様性を発見することができるのが素晴らしいと思っています。ぜひ皆さんにも例会に出席いただいて、人とのつながりを楽しんでいただければと思います。





2014-15 年度会長/小泉 隆一郎君

会長をさせていただいて、その後地区に3年行かせて頂きました。私にとってロータリーとは？と言いますと、昨今例会が1週間のルーティーンのような感じで、水曜日になればここへ来るという感じです。今老人ホームをやっております。地元の伊勢原で仕事をする事になってから青年会議所に入り、その後PTA、そしてロータリーにお誘い頂いたと言うのが私の歴史でございます。その中で貝原さんが仰せになったように、RCは友達との出会いの場だと思います。様々な組織だったり団体だったり、そういった方々と出会う事によって、考え方がたり自分の行動だったり豊かになって行くのかなと思います。老人ホームの目的も介護サービスを通して高齢者の豊かな生活の実現を目指すと言う事です。その豊かさと言うのは、お金や物の豊かさではなくて気持ちの豊かさだと思ってますし、高齢者にとってはお金があっても使えないといった中で、人と人との出会いの中の豊かさが人生の豊かさに繋がって行くと思っています。皆さんもぜひ出会いを多くして、豊かなロータリーライフを送っていただければと思います。



2012-13 年度会長/松下 孝君

2000年に入会しまして、2002年にスマイル委員長を仰せつかり、それからロータリーにどっぷりとはまりました。萩原さんのご紹介で高校のPTAに推薦されまして秦野高校で3年、石田高校で3年やりまして、その後県に高P連の関係で安全振興会と言う所の理事をやっております。会長は2012年に仰せつかりましたが、終わった直後に遠藤さんのご推薦で地区のクラブ奉仕委員長という大委員長を任せられて、3年間やらせて頂きました。そのお陰でバナー補佐のご指名を頂いたと思っています。以前お話ししましたが、1985年に日立に勤めて、それから会社を起こすまでは人のために何かをしようという気持ちが全くなく、元々我儘な性格なので、自分中心の考えでしたが、ロータリーでの出会いの中で、人のためにやることの楽しさや喜びを感じるようになりました。ただ、元々欲深い人間ですので、何か必ず見返りがあるだろうと初めは思っていたのですが、今は、積善の家に桶ありと言う言葉を心に刻みながら、今は返ってこないけど、子供や孫には必ず良いことが返ってくると言うことで自分の欲深い心を鎮めながら奉仕活動をさせていただいております。40周年で飯田さんの幹事をやらせて頂きましたし、私が会長の時は、築城さんが幹事をやっていただきました。今年度は築城さんにガバナー補佐の幹事をやって頂きまして、会長幹事の繋がりは親子の繋がりに近いと思っています。今度築城副会長が会長になられた際には精一杯恩返しをしたいと思います。



2010-11 年度会長/萩原 庸嘉君

「私にとっての「ロータリー」とは、100人100様が素晴らしいと言うことです。それは職業バラバラ率が高い上、事業者としての自分がある為、そして営利目的の団体ではない、ロータリークラブに協力はするが決して群れない、これは派閥がでにくい集まりということです。その裏付けとして、まず年齢層が幅広い。39歳から96歳まで。これは何にも変えることの出来ない知識、そして経験の宝庫であることです。ロータリーに入会していなければ、知り得なかった歴史や背景、事業や行動の成功へのプロセス、そして将来を見据えた様々な考え方、大変勉強になります。ですから、ロータリアンの義務はまず例会に出席することであると言われてます。欠席すれば新たな知識を享受できないロスが出来ますし、逆に又会えること、教えてもらう事を楽しみにしていたメンバーにとっては非常に残念でもあります。そして、精神面、経済面とも比較的裕福なメンバーの集まりです。ですから回れ右の号令とともに多少時間はかかりますが、ほぼ同じ方向に向かって行きます。そこで見え隠れするあまり納得していないな～感もまた素晴らしく、それをなんとかまとめていくのが年度会長の使命であり、苦労する所でもあると思います。私が会長の時は、3.11がありましたので結構難な対応で、碌な説明もせずに過ごした感も多々ありました。年がら年中纏まって、とやっていますと気持ち悪いし、全体主義でもあるまいしと反発を受けます。やはり年に1・2度何かの行事で「クラブ一丸となって」とやった方が良いと思いました。それもロータリーの素晴らしい点だと思います。素晴らしいと思うもう一点。それは米山奨学生であり、高校生のエクスチェンジです。カウンセラー制度がありますので、日本のお父さんお母さんと言われてます。日本と日本人大好きな子が多いのも特徴です。日本から世界に目を向けた時、NHKのニュースからは教えてもらえない世界情勢、又国民の感情考え方、国によって様々です。これも100人100様に繋がりますが、最近は大いに未来が開ける発展する国からの奨学生から受ける印象や発言、会話から勉強になり新たに思ったことは、日本人はフォーカス（金未来予測）が得意でそれに向かって努力する不言実行的思考で進んでいます。しかし多くの留学生、小学生は目標をとても高く設定しています（将来日本の技術を使って、自国を脱二酸化炭素社会に変えていくとか）。トヨタの出した脱CO2 90%みたいなバックキャスト思考が大半です。この有言実行の考え方はまだまだ日本人には理解できない部分があります。すぐに法螺吹きとか言われます。しかし世の中はその大きな法螺を実現させるために動いている事を知り得たのもロータリーです。

しと反発を受けます。やはり年に1・2度何かの行事で「クラブ一丸となって」とやった方が良いと思いました。それもロータリーの素晴らしい点だと思います。素晴らしいと思うもう一点。それは米山奨学生であり、高校生のエクスチェンジです。カウンセラー制度がありますので、日本のお父さんお母さんと言われてます。日本と日本人大好きな子が多いのも特徴です。日本から世界に目を向けた時、NHKのニュースからは教えてもらえない世界情勢、又国民の感情考え方、国によって様々です。これも100人100様に繋がりますが、最近は大いに未来が開ける発展する国からの奨学生から受ける印象や発言、会話から勉強になり新たに思ったことは、日本人はフォーカス（金未来予測）が得意でそれに向かって努力する不言実行的思考で進んでいます。しかし多くの留学生、小学生は目標をとても高く設定しています（将来日本の技術を使って、自国を脱二酸化炭素社会に変えていくとか）。トヨタの出した脱CO2 90%みたいなバックキャスト思考が大半です。この有言実行の考え方はまだまだ日本人には理解できない部分があります。すぐに法螺吹きとか言われます。しかし世の中はその大きな法螺を実現させるために動いている事を知り得たのもロータリーです。

私は西部さんが会長の時に誘われて入りました。その時には奉仕とか人のためにとかはあまり言われず、例会へ出てきてくれればいいんだと言われ、なんとなく入りました。私は当時 12 時半まで外来をやったので、いつも遅れて 1 時頃参加してました。中村さんが会長の時に「いつもすみません」と言ったら「いやいや、来てくれるだけでありがたいんだよ」と言われ、ロータリアンはいい人だなと思い、なんとなく長居をすることになりました。奉仕に関しては、よくわかりませんが、ロータリーの経験が古い人あるいは立派な方ほど屁理屈を言わない。突き詰めると親睦に行き着くような感じがしております。前にもロータリーのメリットとは聞かれたことがあります。その時に私が答えたのは私の話し相手はいつも患者さんなんです。いつも私が目上に立って相談されて何か言う。でもロータリアンの仲間と言うのは対等に色んなことが話せて、私のストレスの発散場所であると感じておりました。もう一つは、以前職業奉仕委員長をやった時に職業奉仕の目的は誰もわかりませんでした、その中に目的として色んな職業を知ると言うことがありまして、非常に感銘を受けて、これだ！と思いました。今、ロータリーには殆ど出られませんが色んな人の話、職業の話を聞くのがとても楽しみです。先日、幹事の多田さんが石材の話をしていて、石材屋さんの仕事は墓石を掘るだけじゃないことがわかりました。結局自分の見聞を広める、色んな職業を知る、仲間を増やすと言うのがロータリーだと思います。

貴方にとってロータリーとは？の答えは、数ある飲み仲間の一つです。



私にとってロータリーは何ですか？と聞かれたら、よくわかりませんが答えです。歴代会長が色々な話をして下さいましたので私が話すことはもう何も無いのですが、私の考えをお話します。私は JC を卒業して色々な所からお話はあったのですが、父が入っていたこともあり、ロータリーがいいかなと思いました。父と一緒にどうかと思い、父が卒業したところで入りました。53 歳の時でした。それから既に 18 年経ちました。40 周年の時に会長をやらせて頂いた時に、RC 活動に一番燃えました。会長をやると違った立場で色々なことをやらなければならない、普通の 3 倍～5 倍のことをやらなければならないのです。そう言う経験が今になってもものすごく生きてると思います。印象深いのは、濱田 PG に言われた「貴方このお昼の時間を自分で作れるよね？」と言われたことです。時間を作れるような会社にしなさいといけなかったことを今でも覚えています。私の優先順位はまずロータリーの日程を優先し調整します。どうしても出られない時は、MAKE をしながらとにかく出てきて、色々な人に会って、色々勉強することがロータリーの最高の魅力だと思います。ですから、辞めたいと思う人の気持ちがよくわかりません。もっともっと真剣にロータリーの事について色々やってみたらいいと思います。そしてやってみてどうしても嫌なら辞めたらいいという位の気持ちでプラス思考で考えて頂けたらいいなと思っています。いずれにしろ中途半端は良くないので、皆さんが真剣になって取り組めば、もっと素晴らしい仲間意識ができるでしょうし、本当のロータリアンになって行くと思います。皆さんのためにという気持ちが大切だと思います。



〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原1-2-2 横浜銀行伊勢原支店内
TEL. 0463-92-5777/FAX. 0463-95-5313
E-MAIL. rc1isehara@gmail.com
(事務局勤務時間) 月・火・水/10:00~17:00)

〔例会場〕和膳 照國／伊勢原市東大竹937-1
TEL. 0463-92-1919
〔例会日〕毎週水曜日／12:30～13:30
(食事は12:00より準備いたしております)